

ご寄付のお願い

神様のお導きにより、広島三育学院三原市キャンパスは開校して45年が過ぎました。そして、学校が送り出してきた卒業生の数は1月に卒業しました高等学校の第45回卒業生をもって4,072名に達し、全国、そして世界で活躍をしています。

しかし、昨今全国的に子供の数が減少する中、教会員の子弟も減り、本校では生徒数の確保にも大変苦勞すると同時に経済的な課題が持ち上がってきております。そのような状況でも、現在在籍している生徒たちに対して安全かつ快適な学習・生活環境を整え提供し、世の中で奉仕し活躍する人材、そしてこれからの教会を支え伝道に携わる人材を育てていくことが学校としての責任であり、使命であると考えています。

先ほども申しましたように開校して45年が経ち、築45年の寮、校舎も各所に傷みが目立ち始め、特に寮のベランダの柵の修繕は、安全管理のために最優先に取り組まなければなりません。また、トイレの改修をはじめ様々な箇所の修理等も優先順位を検討しつつ行っていく必要があります。資金の用意ができ次第、順次着手する予定ではありますが、皆様のご理解とご協力なしでは、生徒たちの寮生活や学校生活の環境を整えることはできません。そこで、紙面でのお願いで大変恐縮ではありますが、皆様からのご支援をご寄付という形でお願ひできないでしょうか。どうぞ宜しくお願いいたします。

尚、「インターネットによる寄付のお申し込み」くださる際には、「領収書の宛名などご要望・連絡事項」欄に、寄付目的をお知らせください。他の方法でご寄付くださる方は、学校にご一報いただき、寄付目的をお知らせいただけましたら幸いです。

広島三育学院三原市キャンパス
院長 島田 真澄
広島三育学院中学校 高等学校
校長 北林 聡

1. 寮ベランダのフェンス（全面改修）

開校して45年が過ぎました。錆びて劣化がひどい状態の柵があります。安全管理の為に修繕を必要としております。

寄付目標額：1,200万円

2. トイレ改修（校舎、チャペルも）

寮のトイレは、10年以上も前に全面改修工事をしましたが、生徒が使う校舎、チャペル、音楽室等の改修はまだ行っておりません。生徒達の心の安定の為に改修が必要だと考えます。

寄付目標総額：集まったご寄付で順次改修をしていく予定です。

*15ヶ所の修繕となります（本部棟女子トイレは、有志の方の強いご希望とご寄付によって全面改修済です）

3. 寮の家具（ベッド、机、ロッカー）の取り替え
4. ペンキ塗り替え（寮・校舎）
5. 床張り替え（寮・校舎）
6. その他

